

臍帯寺石幢および石塔婆



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	ほそおじせきどうおよびせきとうば
所在地	高梁市有漢町上有漢
指定年月日	昭和36年3月23日
解説	いずれも花崗岩製。石幢は高さ約270cm、六角柱の塔身の上に、小型五輪塔の水輪から上を載せている。塔身の六面に仏と銘文が刻まれている。嘉元4年(1306)10月24日の造立。石塔婆は高さ約315cm、幅43cm、厚さ29cm。塔身の上から薬師如来、阿弥陀如来、地藏菩薩が縦に浮き彫りされ、その下に銘文を刻んでいる。嘉元3年(1305)11月13日の造立。ともに石工として名高い井野行恒[いのゆきつね]の作である。
アクセス方法	有漢ICから車で20分
公開状況	
設備	
備考	